

大河原 ロータリークラブ会報

2023~2024年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を
生み出そう

CREATE HOPE
in the WORLD

会長：佐々木由美子 副会長：丸山 勝利 広報・IOC 委員長：佐藤 克美
幹事：鈴木 孝典 副幹事：高橋 英明 副委員長：佐藤 能文
委員：渡辺 和子

2023~2024年度RI会長 ゴードンR. マッキナー
国際ロータリー第2520地区 森 川 昭 正
2023~2024年度ガバナー

例会日：毎週木曜日 12時30分 例会場：和洋亭ぶざん 柴田郡大河原町字新南 25-18 TEL 0224-51-1113

会長あいさつ

会長 佐々木 由美子

2024年6月6日(木) 第2690回 例会



皆さんこんにちは。

本日はゲストスピーカーに坊良 聡様をお迎えしております。お忙しいところをありがとうございます。「作業療法士について」ということで興味深い内容をお聞かせいただけることと思って楽しみにしております。房良さま、後程どうぞよろしくお願いいたします。

さて本日は6月6日ですが、昔から6歳の6月6日からお稽古事を始めると上達が早くなると言われてきましたがご存じでしたか？

「稽」の字は考えることを意味します。つまりお稽古とは「古いものから学ぶ」という意味を持ちます。新しいスキルを身に付けるためには昔を

生きた人々に思いを馳せ、その歴史や文化を継承する覚悟が必要です。そのうえで今自分たちが行うべきことは何なのかを考えて未来につなげていくことが求められます。どのお稽古にも共通する肝要なことは、ただレッスンを重ねるだけでなく、先人の教えから現在に生かす姿勢が大切だということですね。

そういえば、このロータリークラブの活動にもそのまま当てはまるような気もしませんか。ということは、毎週開かれる例会も実は歴史を引き継いだうえでこの先の活動が実りあるものへと展開していく格調高いお稽古なのかもしれないですね。

そしてまたお稽古というのは休まずに1回1回の積み重ねと努力が大切です。そこもまたロータリアンの基本である「例会出席義務」の理念と似ていますね。

会員の皆様方は6歳の6月6日は当の昔に過ぎましたが、今日はまさに新しいことを始めるのにふさわしい日ですね。

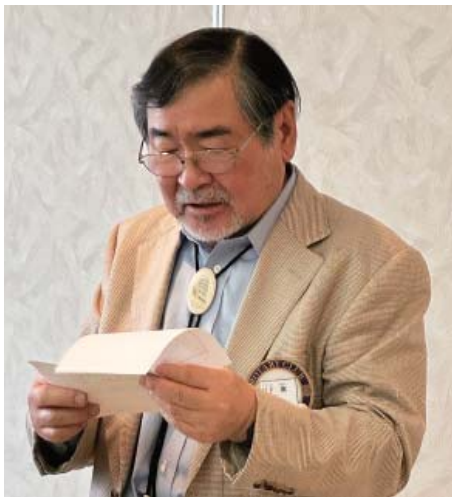
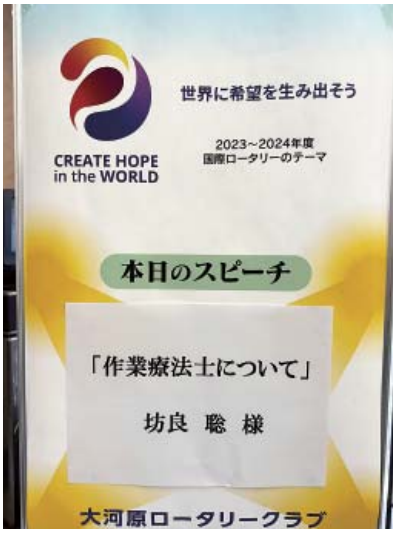
さて、6月の記念会員を発表させていただきます。

誕生会員です。 13日 上ノ台美穂 会員 25日 高城英男 会員

結婚記念会員です。 12日 武者昌洋 会員

おめでとうございます。





2024年6月13日(木) 第2691回例会

皆さんこんにちは。

本日は会長挨拶を丸山次年度会長に代読でお願いしております。

ロータリークラブの会長という大役も会員皆様方のおかげで1年間無事に終わることが出来そうと思ったのも束の間、もっと大変な役が仏教会の方で回って来てしまいました。しかも任期が4年だそうです。

今週と来週はその関連でやむを得ず欠席となり、申し訳ございません。

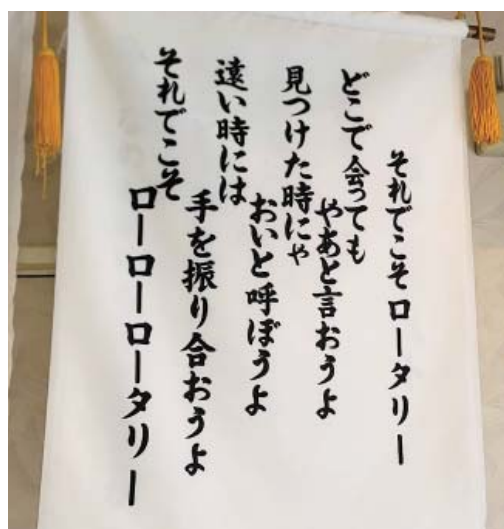
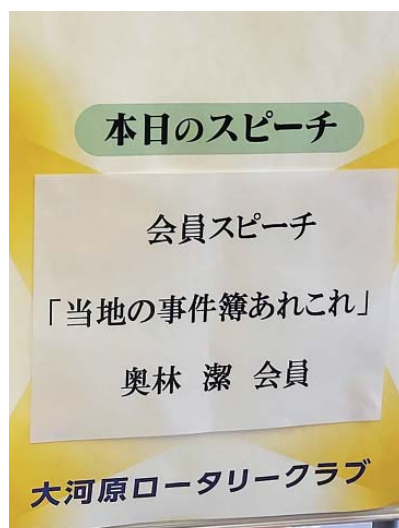
合掌

さて本日は今年度最終の会員スピーチとなります。

奥林会員、最後を飾ってどうぞ宜しくお願いいたします。

タイムリーなことに、今、朝の連続テレビ小説では日本初の女性弁護士となったストーリー「寅に翼」が放送されています。つい引き込まれる内容や展開もさることながら、その時代の裁判官の服装なども興味深く見えています。今日は幅広く活躍されている奥林先生からも興味深いお話を頂けると思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

そして会員の皆様方、再来週の最終夜間例会で今年度を振り返りながら一献傾けましょう。



2024年6月20日(木) 第2692回 例会

ガバナー公式訪問時の服装について

国際ロータリー第 2520 地区

2024-2025 年度ガバナー 佐藤 剛

拝啓 初夏の候、皆様に置かれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素はクラブおよび国際ロータリー第 2520 地区の活動に御尽力賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

森川昭正ガバナー年度も残すところ 2 週間、本年度のクラブ役員の皆様は安堵感が出てきた頃と推察申し上げます。また次年度の皆様は希望に燃え、早く 7 月 1 日の新年度を迎えたいと大いに張り切っているものと存じます。

さて、先日の地区研修・協議会で、佐藤剛年度は「固定観念、既成概念からの脱却」を提唱させて頂きました。進化の為の変化を促すことを目的としております。

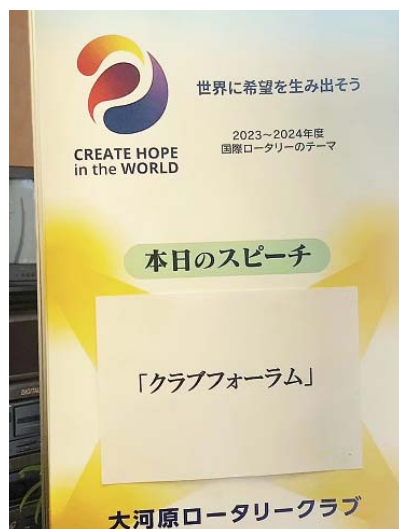
また PETS および地区チーム研修セミナーでは「DEI」についてお話しさせて頂きました。解りにくい Diversity については「多様性」なる訳ですが、私は「Uniformity の反対」とお話しさせて頂きました。つまり全体主義、画一的なことの反対という意味です。

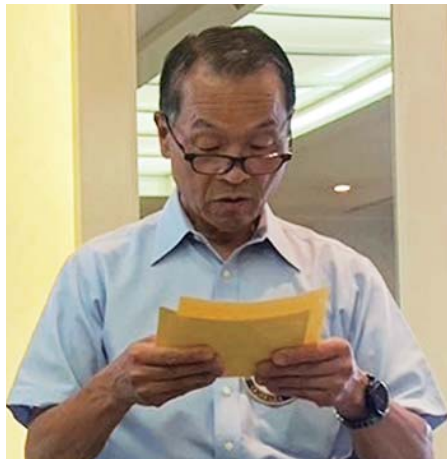
上記の観点から、2024-2025 年度の公式訪問時の服装について申し上げますと、敢えてネクタイは無し、なおかつ上着は会社の制服でも、普段気慣れている服、あるいは和装でも何でも結構という事にしたいと思います。違いを認める土壌を育てていく一助にしたいという思いです。

よく言われる「まず形から入ってみよう」という事でもあります。

Irresistible な皆様にお会いできることを楽しみにしております。そして、ガバナー月信に掲載される公式訪問の写真では、各クラブの皆様が自由奔放な服装でキラキラ輝く笑顔の姿が見られる事を、まだ始まってもない今から心待ちにしております。

敬 具





2024年6月27日(木) 第2693回 最終夜間例会







